

万葉集と新古今和歌集

() () 組 名前 ()

《山部赤人の和歌を通して》

『万葉集』収録

田子の浦たごうらゆうち出いでてみれば真白ましろにぞ不ふ尽じの高嶺たかねに雪ゆきは降ふりける

★語句の説明

- ・田子の浦たごうらゆうち田子の浦から、田子の浦を通って。
- ・うちい↓接頭語。強め。
- ・真白ましろにぞ↓本当に美しく真白に
- ・不ふ尽じ↓富士
- ・高嶺たかね↓高い山の頂上
- ・降ふりけりい↓(雪が)実際に積もっている。

★和歌の大意(おおまかな意味)

『新古今和歌集』収録

田子の浦たごうらにうち出いでてみれば白妙しろたえの富士ふじの高嶺たかねに雪ゆきは降ふりつつ

★語句の説明

- ・白妙しろたえの(しろたえの)↓白、白色。衣い(ころも)袖、袂、雪、雲に係る枕詞まくらことば(まくらことば)。
- ・降ふりつつ↓(今)降っている。

どちらが好き? 「
その理由は? 「
